2022 年 7 月 21 日

横浜ゴム、タイ天然ゴム公社と共同で天然ゴム農家を継続支援、品質向上に向けたセミナーイベントを実施

横浜ゴム（株）は 2022 年 6 月、タイ天然ゴム公社（Rubber Authority of Thailand：RAOT）※1 スラタニ支局と共同で、タイの天然ゴム農家に対し、天然ゴムの品質および生産性向上に向けたセミナーイベントを開催しました。当日は新型コロナウイルス感染症対策を実施のうえ、スラタニ地区の 50 戸の農家 50 名に参加いただき、タイ天然ゴム公社の知見を活かした肥料を 1 農家あたり 250kg 無償提供し、参加者から好評を得ました。同セミナーイベントの実施は昨年に続き 3 回目です。

※1：タイ農業・協同組合省（Ministry of Agriculture and Cooperatives: MOAC）管轄下の組織

横浜ゴムは 2020 年 1 月、当社の「持続可能な天然ゴムの調達方針」に基づき、タイ天然ゴム公社と天然ゴム農家の経営支援およびサプライチェーンの透明性と健全性を確保するためのトレーサビリティの向上に協力していく覚書を締結しました。セミナーイベントは本覚書に基づき、農家支援の一環として開催しており、肥料を提供した農家には天然ゴム物性や生産性についての追跡調査にも協力していただいています。また、2019 年より天然ゴム農家の持つ課題を分析するため、当社の天然ゴム加工会社の Y.T. Rubber Co., Ltd.（ワイ・ティー・ラバー）が立地するスラタニ地区で本覚書に基づいた訪問調査を行っています。

横浜ゴムは、持続可能な天然ゴムのためのプラットフォーム（GPSNR※2）に創設メンバーとして参画するとともに、2021 年 9 月には従来の「持続可能な天然ゴムの調達方針」を改定し、GPSNR の活動との連携を強めています。今回のセミナーイベントは同方針に掲げられた「サプライチェーンに関わる方々への支援」を反映したもので、今後も同方針で定めた活動指標に沿った取り組みを実施し公表していきます。また、国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に取り組んでおり、その一環として天然ゴムをはじめとしたサステナブルな原料調達に向けた活動を推進しています。今年 5 月には、3 回目となる天然ゴムサプライヤーを対象とした交流イベント「サプライヤーズ・デー」をオンラインで開催しました。また、タイでは、現地の大学と天然ゴムの品質や生産性の向上に寄与する共同研究を進めているほか、天然ゴム農家の安定収入を支援する「アグロフォレストリー」の普及推進なども行っています。

※2：GPSNR=Global Platform for Sustainable Natural Rubber

横浜ゴムは 2021 年度から 2023 年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）の ESG 経営において「未来への思いやり」をスローガンに掲げており、事業活動を通じた社会課題への貢献を進めています。

横浜ゴム株式会社
THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.
〒105-8685 東京都港区新橋 5 丁目 36 番 11 号
36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan

セミナーイベントの様子

イベントに参加した天然ゴム農家の方々

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）経営企画部　広報室　担当：岡
TEL：03-5400-4531　FAX：03-5400-4570